

戦 評

大会名 第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子決勝

会場名：盛岡タカヤアリーナ

主 審：新沼 美穂

副 審：小野寺 太

試合結果

一関修紅 3 { 23-25
25-19
28-26
25-21 } 1 盛岡南

戦 評

試合時間 1時間37分

ともに昨年度の雪辱を誓う両チームの対決となった。第1セットは一進一退の展開となった。終盤、盛岡南2番片山のブロックや、3番村上のスパイクで抜け出した盛岡南が先取した。第2セット、一関修紅は中盤に4番佐藤、8番武田の攻撃による連続得点で流れをつかみ、セットを取り返した。第3セット、一時5点差をつけた盛岡南だったが、一関修紅が追い付き、最後は粘り勝ちした。第4セット、両チームとも意地を見せる攻防だった。終盤、一関修紅のサイド攻撃が決まり出し、終始リードを守った一関修紅が競り勝ち、2年ぶり12回目の全国大会出場を決めた。

戦評者：山根 寿

岩手県バレーボール協会

戦 評

大会名 第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

女子決勝

会場名：盛岡タカヤアリーナ

主 審：攝待 沙由利

副 審：多田 直樹

試合結果

盛岡誠桜 3 $\left\{ \begin{array}{l} 25-22 \\ 25-17 \\ 25-9 \end{array} \right\}$ 0 盛岡市立

戦 評

試合時間 1時間07分

決勝まで強豪校に競り勝ち12年ぶり5回目の優勝を狙う盛岡市立と、今大会5連覇が懸かる盛岡誠桜との戦いになった。

第1セット、盛岡市立は2番佐々木（育）にボールを集めて流れを掴み序盤リードする。対する盛岡誠桜は高さのあるブロックで得点を重ね一意奮闘する。中盤までお互いに譲らない展開が続いたが、盛岡誠桜は5番及川の技のある攻撃などでセットを奪取した。

第2セットも流れに乗る盛岡誠桜は、盛岡市立にリードを許さず勝ち取った。第3セット、先に流れを掴みたい盛岡市立は4番村田や5番佐藤の攻撃で糸口を探すも、盛岡誠桜は3番大久保の安定したレシーブから4番川村の攻撃に繋げてセットを奪い、5年連続24回目の全国大会出場を決めた。

戦評者：鈴木 琴美

岩手県バレーボール協会